

# 未来を開く

長井市立長井北中学校

No.9 令和4年5月2日

## 令和4年度『部活動』スタート!!

1年生が本入部となり、部活動の新体制が整った。その教育的意義を確認し、生徒の成長につなげていきたい。

「中学校での思い出は?」と聞けば、運動会や修学旅行と肩を並べるのが『部活動』。中学校における部活動は、学習指導要領(この定めに基づいて学校では勉強を進めます)に位置付けられた教育活動です。

本日5月2日(月)、第1回目の部活動会が行われ、部員の紹介と目標や約束などの確認が行われました。自分の意思で決定・入部した部活動で、心身共に「たくましい人」になって欲しいと願っています。



### 部活動の「目的」と「目標」

部活動のねらいには「目的」と「目標」があります。

まず、部活動の「目的」は「人間形成」にあります。部活動をとおして、連帯感や責任感を育成するとともに、学力向上です。さまざまな体験や経験を通して、仲間との関わり方や自分の役割を果たすことを学び、自己実現に向け学習意欲向上までつなぐのです。また「目標」は、「地区大会優勝!」とか「県大会入賞!」など、身近なねらいとして設定することになります。



### 「好き」こそ物の上手なれ!

小学校時代からそのスポーツに親しみ、身のこなし等に慣れた生徒もいます。一方、同じ部の中にも中学校になってから始めた生徒もいます。先輩教師から、「初心者でないがしろにしては、チームワークは育たない」と教えていただきました。

「このスポーツが好きだ!」この思いに経験は関係ありません。この思いがあるからこそ、やらされるのではなく、自分から練習するのです。そして、思いを共有しているから「頑張れ!」の応援が出てくるのです。



### 「生活態度」 = 「結果」

部活動では、活動をとおして「礼儀正しさ」「集中力」「他との協力」を身につける、つまり生き方を学ぶことも大事です。この学びは、試合の土壇場で出てきます。踏ん張りは身体の底からにじみ・わき上がってきます。例えば、日頃からあいさつが元気よくできていれば、試合の中でも「かけ声」や「声援」が出せるし、「前向きパワー」が背中を押してくれるのです。

### ゴールデンウィークの生活について

※学校では、次の通り指導していますので確認してください。

- ①事故(交通、火や水、ケガ)のない安全・安心な生活を!
- ②誘惑に負けず、判断力・自制心・責任を持った行動を!
- ③外出するときは感染防止の徹底を(外泊は許可していません)!
- ④規則正しい生活を!



# 部活動入部状況（本入部）

2日(月)に「入部届」を提出していただきました。集約の結果、下表のようにまとまりましたのでお知らせします。

NO	部活動	1年	2年	3年	計	令和4 地区	令和4 新人	大会出場 となる 正規人数
1	野 球	1	7	3	11		※	9
2	陸 上	6	8	8	22			4
3	サッカー	6	7	5	18			11
4	ソフトボール	2	6	5	13		※	9
5	男子ソフトテニス	7	4	7	18			6
6	女子ソフトテニス	1	5	4	10			6
7	男子バレーボール	1	5	8	14			6
8	女子バレーボール	6	3	8	17			6
9	男子バスケットボール	9	4	6	19			5
10	女子バスケットボール	7	2	2	11			5
11	剣 道	9	4	7	20			5
13	男子卓球	5	6	5	16			6
14	女子卓球	7	4	5	16			6
15	吹奏楽	6	12	6	24			
16	総合文化	6	5	14	25			
17	総合運動	6	4	9	19			
	サッカー	3		4	7			
	野 球		1	0	1			
	水 泳		3	1	4			
	バドミントン	3		1	4			
	ダンス			2	2			
	柔 道			1	1			
計		85	86	102				

(注) 表中の※印は該当大会の団体戦に単独出場できないという意味です。

## ☆新任者の紹介☆

5月1日から、大津 講師  
をお迎えました。  
本校は初。保健体育担当 在住。  
3学年の副担任。陸上部顧問。

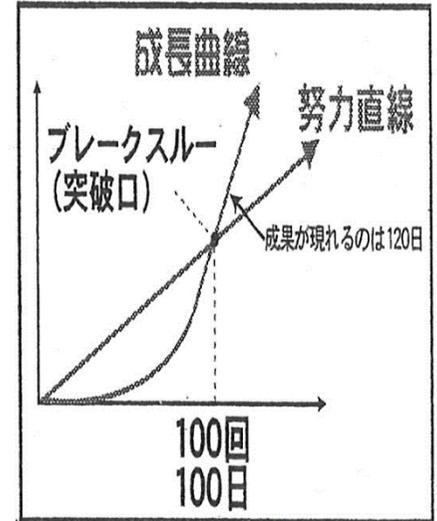


皆さんと一緒に生活できることが楽しみです。いろんな話をしましょう。

# 心のとびら

鳥居哲也 氏  
(船橋情報ビ  
ジネス専門学  
校)  
の言葉を参考

「努力に王道はない。」コツコツと積み上げていかなければならない。そして、その結果である成長が、正比例して見られるのであればいいのだが、そうはいかない。やってもやっても、報われない日々が続く。しかし努力を続けると、ある時、成長は加速度的に表れる。その区切りが、100日であり100回の繰り返しである。つまり、120日勉強すれば、結果が目に見えてわかるのだ。これが、向山洋一氏の提唱した「努力直線と成長曲線」である。



学習効果が上がらず、悩んでいた高校生の声を紹介しよう。「このグラフから、まず努力することが大切なんだと感じました。しかもその努力は4か月(120日)続けなければならないということを知り、とりあえず頑張ってみようと思いました。」「初めは結果が出なくて苦しいと思いますが、『努力直線と成長曲線』を信じてやってみようと思います。」

このグラフは、学習だけでなくすべての事に応用可能である。部活で一つの技を習得するときできるようになるまで・・・ぜひ活用してください 参考：鳥居哲也氏(船橋情報ビジネス専門学校)